

議事概要記録

開催日時	平成 27 年 9 月 19 日 (土) 13 : 00 ~ 15 : 00	開催場所	済生会和歌山病院 7 階講堂
会議種別	平成 27 年度 第 4 回理事会	議長	畑 忠良
		書記	田中 規仁
出席者 <敬称略>	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁、蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、久保 光史、神藤 洋次、脇村 小津江、石井 啓子、田原 靖子、勝山 浩樹、村田 正吾、16名		
欠席者 <敬称略>	瀧口 良重、	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 公益事業活動 (イ) 定款・渉外 (ウ) 災害対策委員会 (エ) 精度管理 (オ) データ標準化 (カ) 会誌編集 (キ) ホームページ (ク) 会報 (ケ) 月例行事予定表 7. 連盟 8. その他 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害支給等に関する規程 (案) について 2. 総会運営規程 (案) について 3. 次回理事会 (各種事業計画案・予算案) について 4. その他 		
	<p>決議事項 及び 継続事項</p>	<p>定刻に、議長・竹中副会長より開会宣言があった。 ひき続き、玉置会長より挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>会長報告</p> <p>日臨技関連の報告について、特になしとのことであった。 支部・近臨技関連について、10月17日に支部内連絡会議があり、玉置(幹事)、木下(学術)、竹中、大石(学会)4名参加予定とのことであった。 和臨技関連として、8月20日から22日まで第10回和臨技海外研修事業が終了した。</p>	

出発の2日前に爆弾テロが発生し中止も検討したが、開催には問題なしと判断した。若干のキャンセル者も出たが、最終日本人14名（うち和臨技2名）とタイ側4名の合計18名の参加であった。別紙にて収支報告もなされた。大阪コミュニティ財団から助成を受けた研修であるため、引き続き同財団に報告書を提出するとのことであった。和臨技事業である本研修は、第56回近畿支部学会で2名、IFBLSで2名、第65回日臨技学会で2名の計6名による学会発表で完結とし、今回の第10回でもって終了すると報告があった。災害フォーラムについて、12月12日に4名の講師で開催予定と報告があった。

他団体関連として、7月14日の知事との懇談会での席上、上記の災害フォーラムについて技師会が取り組んでいく旨の報告と、厚生労働省通達の地方自治体、赤十字血液センター、主要医療機関が中心となった合同輸血療法委員会設置において、和臨技も参画したい旨の申し出を行ったと報告があった。早速、和歌山県薬務課副課長と薬事血液班長の訪問があり、『血液製剤使用適正化推進講演会』開催に当たり、技師会への参加要請が正式にあったとのことであった。

（日臨技同行の補足として）

支部研修会での事務的処理に「臨時アルバイト」をしたい旨について、支部長を通じて日臨技に要請したが認められなかった。引き続き交渉していくとのことであった。

支部長連絡会議録にて、日臨技総会議決権行使書の回収方法について、従来の都道府県回収の方が、効率が良いのではないかという意見聴取の中で、会員のメールアドレスを把握するという回答自体が回収率低迷の原因にたいして認識があるのか懐疑的だと意見があった。

日臨技理事会議事録にて、「検体測定室連絡協議会には日臨技として委員は出さない」の記述に対し、日臨技として何かしらの対応は無いのかと意見があった。

会長から支部長を通じて、日臨技に意見陳述する事を確認した。

常務理事会報告

平成27年度医療従事功労者賞候補者の推薦依頼について、畑副会長を推薦することを確認したことを報告した。

日臨技地域ニューリーダー育成研修会について、木下学術部長を派遣することを確認したと報告した。

第24回参議院和歌山県選挙区選出議員通常選挙について鶴保庸介参議院議員への推薦依頼が有り、受諾することで報告したが、日本臨床検査連盟の指示を仰ぐこととした。

同時開催の定款検討委員会報告での、災害支給等に関する規程（案）及び総会運営規程（案）について検討したことについて報告し、修正案を理事会審議事項にて検討することとした。

例年の学会関連事業（精度管理報告会など）について、3月5日（土曜日）をめぐりに開催することで関係各所と調整する旨を理会に提案した。

事務局報告

7月7日に日本肝臓学会から日本肝臓学会市民公開講座への後援名称使用依頼があ

った。

同日、平成 27 年度院内感染対策講習会について派遣技師の検討を行った。

7 月 17 日に医療セミナーinわかやま後援名称依頼発送を行い、11 団体全てから承認を得た。

7 月 23 日に和歌山県臨床コーチング研究会から和歌山県臨床コーチング研究会後援名称使用依頼があった。

8 月 17 日に県医務課より、厚労医政局から検体測定室における一連の採血行為での医行為に該当する部分について注意喚起があったことの情報提供があった

8 月 20-21 日にチュラロンコーン大学保健衛生学科にて平成 27 年度第 10 回アジア研修が開催された。

9 月 2 日に県医務課から平成 27 年度医療従事功労者賞候補者の推薦依頼があった。

学術報告

JAMTIS 新システムが 6 月 29 日より稼働開始され、日臨技推進事業申請に予算案作成が必須となったと報告があった。日臨技推進事業報告は新システムで処理可能となったが、書面での報告は必須とのことであった。

新システム参加登録用アプリケーションについて、OS は Windows VISTA 以降が必須となったため、学術用 PC の更新が急務と報告があった。

9 月 8 日現在、日臨技推進事業への採用 13 (決算書承認済 6 件・決算報告書完了 5 件・未開催 2 件) と報告があった。

第 55 回日臨技近畿支部医学検査学会の一般演題座長候補者推薦 11 名中、7 名への指名があったと報告があった。

第 20 回和歌山県病院協会学術大会一般演題座長推薦について大石理事を推薦したとのことであった。

会誌和臨技の、技師会活動参加報告依頼について、和臨技オリエンテーション(橋本病院、恵友病院、日赤和歌山医療センターの 3 篇) および第 18 回学術部一泊合同研修会報告(公立那賀病院、国保日高総合病院、紀南病院の 3 篇) 計 6 篇の投稿を依頼したと報告があった。

精度管理事業について、第 28 回 平成 27 年度和歌山県臨床検査技師会臨床検査精度管理調査が開始された。一部施設より、試料の凍結及び溶血有りとの報告があった。また、病理細胞分野の設問に一部訂正があったとのことであった。

ピンクリボン紀南について、日臨技生涯教育履修登録および行事予定表掲載依頼があり登録を行ったと報告があった。

(精度管理事業経過報告について)

試料発送作業 8/31・11 時～から行った(臨床検査精度管理調査期間 9/1～9/11)。

8/31に、臨床化学担当委員より臨床化学検体凍結の報告があった(他施設の状況を待つことで対応)。また、輸血担当委員より一部検体溶血の報告もあった(残余検体で対応、他施設からも報告あれば同じく再送することで対応)。

9/1に、血液担当委員より検体溶血の報告があった(測定結果にかなりの影響がでている)。

同日に、学術部長をはじめ常務理事に現状を報告し、「精度管理試料の不具合について」を各参加施設にメールとFAX配信にて対応した。

9/3に病理細胞担当委員より病理設問の不備についての報告があり、学術部長に報告したのち設問訂正文を参加施設へメール配信にて対応したと報告があった。

検討課題として、今後の試料配送に対して梱包の仕方、冷媒の扱い、専用の輸送箱の調達など、委員会において検討すると報告があった。

また、書式フォーマットの統一を徹底することや、最終的な設問の細部についても、確認作業を各班において徹底することを改めて指導すると報告があった。

経理部報告

特になし

各種委員会報告

公益事業活動

医療セミナー in わかやまと、大学祭 (HIV VCT) への協力要請があった。

定款・渉外

特になし

精度管理

精度管理調査に関する手引書に、試料発送日・到着日の記載があったと報告があった。

データ標準化

特になし

会誌編集

8月1日より会誌和臨技投稿依頼を開始した。同時に、会員の学術活動調査も開始したと報告があった。

ホームページ

特になし。

会報

前期号(9月末まで)を編集中で、原稿ある方は9月中に投稿して頂けたら掲載しますとのことであった。また、11月下旬に配布予定であるため、12月以降の行事等原稿頂けたら掲載すると報告があった。検査室紹介として、和歌浦中央病院・中谷医科歯科病院・向陽病院・桜ヶ丘病院を掲載予定とのことであった。

月例行事予定表

今年度の申込みは特に少なく6社に留まっていると報告があった。賛助申し込みも少ないようで、次年度の申込書を1枚記載に戻す提案があった。コスト削減に向けた提案が有り、賛助会員向けにはPDF版で対応することを確認した。

連盟報告

9月17日現在、94人と報告があった。10/3（土）13時～15時、連盟執行委員会が東京・日臨技会館で開催すると報告があった。宮島会長が立候補を表明、出馬することが正式に決まったと報告があった。

その他

検査説明・相談が出来る技師育成講習会について、申し込みが20名弱と報告があり、引き続き広報のする様に申し出があった。

審議事項

災害支援等に関する規程（案）について

概要を会長から説明が有り審議した。若干の修正を加えて、9月20日からの施行となった。

一般社団法人和歌山県臨床検査技師会総会運営規程（案）について

概要を事務局から説明を行い審議した。若干の修正を加えて、9月20日からの施行となった。

次年度事業計画について

次回理事会では28年度各種事業計画案・予算案を中心に開催したいと事務局から申し出をした。各部の次年度計画案・予算案は11月30日締め切り（事務局着）とし、先だって12月12日の常務理事会にて審議することを確認した。

記録作成	平成27年10月4日	氏名	田中 規仁	提出	平成27年10月5日
------	------------	----	-------	----	------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可